

令和5年度 児童朝会6・2講話

令和6年1月29日【チョコ7】
おはようございます。

先週6年生と一緒に中学校に行ったり、卒業遠足でキッザニア甲子園に行ったりしました。どこでも大変行儀よくできていた、たくさんほめられました。こんな立派な6年生ももうすぐ卒業です。残りわずかな日々ですが、1年生～5年生のみなさん、6年生のすばらしいところを、しっかり見習ってくださいね。

また、大谷選手の野球グローブが届きました。1年生から順番に回していますので、眺めたり、使ったりしていかり活用してください。

では、チョコレートのお話の最終回です。先週200円のフェアトレードチョコレートを買うことでガーナに学校が建てられるというお話をしました。実際10年ぐらい前に、日本でもフェアトレードチョコレートブームが起こり、スーパーやコンビニでもフェアトレードチョコがたくさん売られていました。これでアペティ君たちも学校に行けるようになったかというと、実はあまり行けていないのです。なぜ、学校もできたのに行かないのでしょうか？少しまわりの人と聞き合ってみてください。

農園主に労働を押し付けられているからや、病気のお母さんために、学校に行かないで働くなくてはいけないなどの意見がでました。

実はアペティ君たちは、フェアトレ

ードチョコを買わないで、ぼくたちのつくったチョコを買ってというケンダプール宣言を出しています。つまりアペティ君たちにとって、学校にも行きたいけど、お金が無いと生きていいくことができないから、仕事をせざるをえないのです。だからチョコを買ってとお願いしているのです。

とてもややこしい状況です。まとめますと、フェアトレードチョコは値段が高いが、学校を建てられる。児童労働の結果できたチョコは、安いがガーナの児童を学校に行かせられない。でも少しだけ子どもにもお金が入る。

みなさんなら、どちらのチョコを買いますか？ガーナに学校を建てたいのでフェアトレードチョコを買います。子どものうちに、しっかり勉強しておくべきだからフェアトレードチョコを買いますなどの意見が出ました。すばらしいですね。どちらを買うのが正解とかはありません。このように世の中の問題は、一筋縄でいかないことがたくさんあります。

日本に住んでいる私たちは小学校に入り勉強することが普通になっています。でも、世界には、学校にいきたくても、勉強したくてもできない子どもが、たくさんいるということを、チョコレートを見るたびに少し思い出していただければ幸いです。

今週のお題は、チョコレートのお話を聞いての感想です。校長室前のボードに書きに来てください。

今日も最後まで聞いていただきありがとうございました。